

して御廣岡の如き指導原理には固して何等現定してありません。

五、帝國主義戦争反対の爲の闘争は御承知の如く、党大會に於て決議され、此の重要なる闘争題目となつて居ります。其帝國主義戦争としての滿蒙戦争に對する反対闘争の具体的な方針は御廣岡後指令の如く、「對支出兵反対闘争方針書」によつて御諒承を得たこと、存じます。然し勿論、此の重大なる闘争を展開するにあつては、党の闘争の基礎の上に慎重なる設備が考慮されるべきであります。党本部は党支持組合の全的又特と積極的協力を深く期待する次第であります。

六、労働階級はもとより農民並に無産市民の爲めに我々の任務は、千ノ一、重大を加へつゝ、ある今日、党本部は選挙戦に臨む危険を感ぜし、選挙第一主義を以つて府縣會議員選挙闘争を戦ひ抜くことに努力いたし、是が今後更に此方針を徹底的擴充の爲め努力する決意であります。

昭和六年十月三十一日

全國労働大衆党

常任中央執行委員会

日本労働組合総聯合

特別政治委員会 御中

吾が総聯合の頃、岡君と党本部との回答を見る時に如何に総聯合の頃、岡君と党本部を取り扱ひつゝあるかを知ることが出来る。今や政治的にも経済的にも重大なる時機に到達しつゝあるかを知ることが出来る。日本の社会運動は心からの確信のもとに大衆の生活に即した運動に押し進められねばならない時である。従来は一切の観念的な運動方針を清算して邁進するの勇氣と努力を奮起しなげればならぬ。

思ふに党本部はかゝる拙劣のなき回答書を以つてして総聯合が承吸出来得ると信じた処に御目出度さがある。

而し吾等は更に慎重なる態度を以つて党大會を静觀するは要ありと各聯合会に堅辛なる態度を戒めて居たが、大會直前、神奈川縣聯合会会長森栄一氏をして党神奈川聯合会は統制院記者と云ふ名称を付して除名を發表し、此に對して「吾等はこれを冷笑を以つて迎ふ」と聲明書を神奈川聯合会の名に於て發表した。